

## 「近所づきあい」に関するアンケート調査

調査期間: 2016年6月9日～2016年6月11日  
 調査方法: インターネットによる調査  
 調査対象: 新潟県内在住の15～80歳の男女  
 有効回答数: 2,378名

### ● 調査結果概要 ●

#### ■ 親密度は低いものの、満足度は高い

#### ■ 約半数が、災害が起きた場合は不安と回答

株式会社スピードリサーチが運営・管理するONES★会員(新潟県内在住者のみ)を対象に「近所づきあい」に関する調査を実施しました。

#### ■ 「近所づきあい」の現状

近所づきあいの親密度について、「付き合っているが、それほど親しくはない」と回答した割合が最も高く、全体の約4割を占めた。「親しく付き合っている」(親しく付き合っている+どちらかと言えば、親しく付き合っている)と回答した割合は全体の約3割となった。

満足度については、全体の約8割が「満足」(満足である+どちらかと言えば、満足である)と回答している。

#### ■ 災害時における安心度

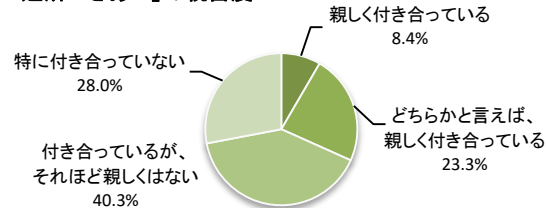
災害時で助け合いやサポート等が必要となった場合に、現在の近所づきあいで安心できるかについて聞いたところ、全体の半数近くが「不安」(不安である+どちらかと言えば不安である)と回答した。

助け合いやサポート等をお願いする相手として、「家族・親戚」が最も高く、8割を超える。次いで「友人・恋人」で5割。「近所の人」と回答した割合は2割に満たない。

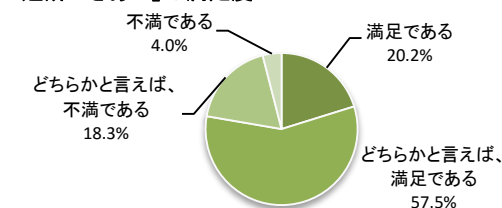
近所づきあいの現状を見ると、親密度はそれほど高くはないものの、概ね満足している様子が見えます。その一方で、災害が起きた場合の事を考えると、不安を感じる人は少なくありません。

災害等、いざという時のため、近所と信頼関係を構築し、いつでもお互いに相談・サポート等をしやすい環境を整える事も、重要な備えの一つだと考えられます。

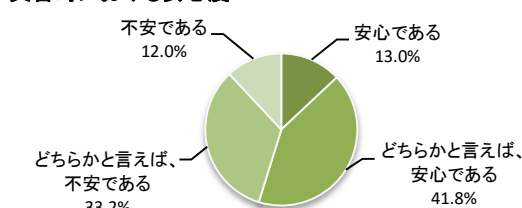
「近所づきあい」の親密度



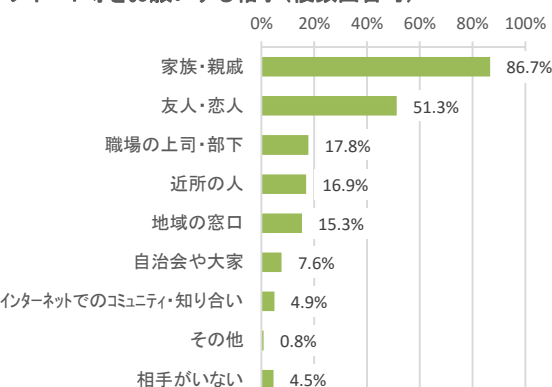
「近所づきあい」の満足度



災害時における安心度



サポート等をお願いする相手(複数回答可)



#### ■ 集計・分析にあたって

1. 図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことです。100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
2. 数値(%)は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないことがあります。
3. 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で選択肢(文言)を簡略化することがあります。

### ● 本件 お問い合わせ先 ●

**株式会社スピードリサーチ** (担当: 栗林) 新潟市東区小金町1-7-1 NTT小金ビル  
 TEL: 025-270-3800 E-Mail: info@speed-r.co.jp

※本調査結果のご使用は原則無償です。ご使用いただく際は、事後報告でも構いませんので、ご一報願います。  
 ※ご使用の際は、調査対象が「ONES★会員」であることをご明記願います(任意)。